

## 1. 日時・場所

令和3年3月14日(日) 14時30分～16時30分  
箕面市立多文化交流センター2階会議室

## 2. 参加者

29名

## 3. 案件

- ・令和2年1月19日説明会の意見に対する回答
- ・(仮称)箕面市立ワークセンター小野原計画案について
- ・今後のスケジュール(案)について

## 4. 質疑応答

(参加者)  
集合農地は一定期間は転用できないという縛りがあるのか。  
(市)  
個々の事情で転用はいつでも可能であり縛りはない。

(参加者)  
造成工事や竣工の説明会はまたあるのか。  
(市)  
今回の説明会で終わりではない。都度実施していく予定であり、決まり次第皆様にご案内する。

(参加者)  
地震が増えていて不安。地質についての資料はもらえないのか。地盤の状態によって現在の予定の場所よりずれる可能性もあるのか。  
(市)  
地質調査をまだ実施していない。今回実施する調査はあくまでもこの建物を建てても大丈夫かを調査するため、最大深さは20mを予定している。  
調査の結果、地盤が悪ければ変更する可能性はないとは言えない。

(参加者)  
工事車両に安全面の配慮が必要。通学路のため通学時間帯も含めて、人一倍気を遣っていただきたい。  
(市)  
安全に配慮しながら、通学時間等についても極力配慮をしていきたい。きちんと説明会でご報告できるよう準備する。

(参加者)

工事期間中の駐車はどこにするのか。駐車されたら困る場所がある。

(市)

造成工事も建築工事も必ず事前に仮設計画をたててから実施する。車両の駐車スペース等について事前に打ち合わせをさせていただき、その内容を反映させた計画とする。造成工事については敷地一杯を使う時期があり、その際は敷地外も含めて計画する必要があるため、状況に応じて周辺に配慮した駐車にする。

(参加者)

予定地一帯は水田だったため、10m くらいは盛り土になっており、地盤が弱い土地である。

(市)

盛り土についてはしっかり調査し、強固な建物を建てられるよう確認していく。

(参加者)

擁壁を建てると聞いているが、建物高さはどこから測定するのか。

(市)

高さについては、平均地盤から測定する。建物の詳細が決まれば平均地盤面が分かる。その結果日影がどうなるかについては個別にお知らせさせていただく。

(参加者)

生産緑地の買取は営農者が買い取り申し出をされた際、市にまず買取の権利があるが、市が買い取った事例はよくあるのか。

(市)

箕面市全体で見ると生産緑地の買取事例はある。

(参加者)

R1.6 に土地購入の補正予算を提案している。議会に対しての説明の際、地域住民への説明・理解を得られていたのか。買い取ってから進めることを前提にしているように感じる。周辺住民の理解を得た上で、建設ありきの説明会と捉えられないように進めて欲しい。

(市)

R1.6 の補正予算提案時、健康福祉部から周辺住民に個別に説明させていただいたとき、R2 年 1 月の説明会において、土地取得等について様々なご意見をいただいた。建設ありきの説明会でなく、あくまでこういう方向で建設させていただきたいというものであったことをご理解いただきたい。みなさんのご理解を得ることが必要と考えており、利用者のかたも周辺のかたも理解の上で進めるべきものと考えている。

(参加者)

前回説明会で、土地買取の際に施設建設の意向はなかったと回答があったと聞いている。土地を買うなら買うで、はじめにその理由を説明すべき。周辺農地の方が不安に思われていることは深く受け止めていただきたい。

( 市 )

R2年1月の説明会ではそのように回答したが、その後、健康福祉部として障害者施設を建てたいと申し出をしていたことがわかった。その件については申し訳なく思っている。予算も議決もない中で、何を根拠に説明すべきか非常に難しいところだった。予算の議決を得てご説明にあがったという経緯がある。

(参加者)

設計図等が出ているということは業者も決まっているのか。

( 市 )

図面を作成するための設計業者は決まっている。工事は別途入札する。設計はまだほとんど進めていないごく初期の段階。みなさんの意見を反映しながら設計していくもの。

(参加者)

あの地区一帯は道路側溝が農業用水路としても利用される。工事中に排水を流されると夏場や秋などの水を入れる時期にはかなり影響を受ける。ろ過して排水するとのことだが、どういう形でどこに排水するのか。

( 市 )

水を一切流さずに工事はできない。敷地内の道路側溝に排水する前に大きい風呂桶のようなものに入れて泥を沈殿させ、濾過してから流す。ただし、大雨が降るとどうしても多少流れることはあると思う。営農されている方とご相談しながら進めることになる。

(参加者)

ミキサー車が側溝にコンクリートを流して詰まったことがある。工事期間中ずっと市が指導するのか。

( 市 )

そもそもミキサー車を駐車し側溝にコンクリート等を洗い流すことを市は認めていない。契約時にその内容も定める。また、常駐して市職員が見張るわけではないが、工事を見守る監理事務所に監督をさせる。

(参加者)

地区計画では一般住宅地区の整備地区と聞いているが、このような大きい施設を建てることは地区計画に対して妥当なのか。

( 市 )

今回の施設は、用途地域が第一種中高層住居専用地域、地区計画に定める建築できない用途は公衆浴場、自動車車庫、畜舎となっており、地区計画上、建てることは可能。

(参加者)

予定地の隣地のかたと話していたが、日陰がどのくらいになるかの図面も見っていないと聞いた。ちゃんと説明し納得した上で進めてほしい。営農者にとっては死活問題。

( 市 )

日影については地質調査等がある程度進んだ段階で説明させていただきたい。

(参加者)

窓の位置はこれでいいのか。西日が入り利用者に温熱効果が悪いようにしないでほしい。また、2階建てで済むような検討も進めて欲しい。

( 市 )

音漏れを防止する観点から二重ガラスを考えているが、西日についても対策を考え利用者がすごしやすい工夫をする。

(参加者)

施設が必要な根拠が不明。前回説明会において、現状の施設の有効利用や工夫すべき点があるのではという意見もあった。コロナ以後、財政的に逼迫している中、根拠の提示が必要。コロナにより優先順位も変わっていると思う。

( 市 )

前回説明資料の配布がなかったことについては申し訳ない。冒頭で説明したものがおおまかな内容である。障害者の推計等をもとに、必要な基盤数、不足する施設数をたたき台で算出した。それを根拠にしている。以前から計画しているものであり、コロナ後であっても変わっていない。

(参加者)

東部地区に施設がないとのことだが、送迎されるのであればあえて建てる必要はないのでは。議決された際の詳細も提示されていない。この説明会は市民の何パーセントが知っているのか。HPに載っているとのことだが、お年寄りは見ない。

広報紙に載せるなど、市民全体にお知らせし理解いただく必要があるのでは。

( 市 )

まずは近隣にお住まいのかたにきちんとご理解いただくことを重視している。広報の方法については検討する。

(参加者)

理解が得られなければ白紙に戻す可能性もあると考えていいのか。

( 市 )

市としては撤回する考えはない。住民の方のご理解を得ながら進めていきたい。

(参加者)

送迎について、どんな大きさの車が何回走るか教えてほしい。

保護者が自家用車で送迎することもあるのか。

( 市 )

送迎車のイメージは7~8人乗りの乗用車でハイエースなどのミニバンタイプのもの。8台前後の想定で、朝夕に送迎を行う。

(参加者)

未就学の園児や中高生、小野原公園で遊ぶ他地域のお子さんも多い。  
ミラー等もなく事故が非常に不安。利用者は散歩や公園で過ごすこともあるのか。  
子どもや女の子もいるとそのあたりが気になる。

(市)

送迎ルートは様々なご意見をいただいているので、ご説明をしながら進めていきたい。  
散歩等をするにはあるが、必ず職員が付き添って数人のグループになって外出する。単独  
で外出することはない。

(市)

本市は、障害のある人もない人もすべての人たちが安心して箕面市に暮らすことができる「ノ  
ーマライゼーション」の考えをもってまちづくりを進めてきた。  
特に障害当事者のみなさんにとっては、今回の施設については、積年の思いで、苦勞を重ね  
られ、やっとこの地域で実現されるとの思いである一方で、地域のみなさんの思いもこの説  
明会でしっかり受け止めさせていただき、考えていきたい。  
市としては、障害の有無にかかわらず、あたりまえに生活できる環境を整え、ぜひとも地域  
の皆様方にも受け入れていただけるよう、住民のみなさんとともに生活できる環境をつくら  
せていきたい。  
今回の施設の設計を行うために、スケジュール(案)で説明した地質調査については、調査  
実施前に近隣の方々にご連絡させていただく。

以上